

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

図書室で分散されて行なわれて来ました。昭和41年4月、学内図書行政近代化の動きに呼応した形で、理学部の図書行政改革の第一歩として理学部中央図書室が設置されました。ここには事務機構だけが設けられましたが、この措置によって、図書の受入業務が本館よりここに移管され、図書の整理業務が著しく迅速化されました。当分館の正式発足こそ工学・農学の他の分館よりおくれてしまいましたが、その構想はむしろそれらに先んじて進められていました。すなわち、昭和41年、東北大学の移転統合計画の一環として、理学部の青葉山北地区への移転計画が進められた際、図書分館設置の構想が持たれ、翌42年には薬学部（当時は医学部薬学科）の賛同を得て、「理薬分館」（仮称）の設置要求の提出を理学部が窓口となって開始しました。

理薬分館設置が切に要望された背景には以下のような事情がありました。1) 図書価格の高騰および新刊図書の増加が著しく、また一方では図書関係の職員が減少しており、学科単位の図書室の健全な運営が困難になって来たこと、2) 東北大学最古の学部である理学部には重要な文献・図書が多数収蔵され、薬学部の蔵書を加えると蔵書数は約21万冊を超え、しかも年々新規に購入される図書の数は両学部で8,500冊を超える。いづれの学科図書室でも膨大な数の図書の収蔵に支障を来しており、十分なスペースを備えて効率的に管理が出来る図書館を設置することが不可欠になっていること、3) 本館や他の分館との協力の下に、文献検索、複写サービス等の業務を行なうことによって、学内のみならず、学外に対しても最大限開かれた図書館が広く求められるようになったこと、4) これらのために、図書館資料と図書館機能の集中化が実現されなければならないことなどでした。

以上の背景を踏まえて、分館としては、限られた予算の範囲ですが、図書を益々充実させると同時にその収蔵・運用に十分に意を払い、JOIS等を導入して情報検索の便をはかり、さらに教官・学生が心地よくかつ能率的に利用できるような閲覧室をつくって参りたいと思います。使いなれた学科図書室を廃止し、それに伴って今後は分館（新館は理・薬学部の中間に建設の予定）迄足を運ばなければならない不便さには、あるいは抵抗をお感じになる向もあるかも知れませんが、以上に述べたように、分館設置には、この不便さ以上の大きなメリットがあることを十分ご理解の上、特に、両学部の皆様にご協力をお願いする次第です。

最後に、如何に図書を充実し、情報検索の便を計ろうとも、そこからえられる歴大な情報の中から、何が将来に迄生き残る価値ある“玉”の情報であり、何がすぐに忘れられる“石”情報であるかの“玉石”の取捨選択は、あく迄研究者である利用者の責任においてしなければならないことだと言うことを蛇足ながら付け加え当分館を積極的にご利用下さるようお願いいたします。

「本学所蔵和漢書古典分類目録」の刊行了わる

標記目録が、この57年3月の「和書書名索引」の刊行を以て一応の終結をみた。

全7冊の内容は以下の如くである。

- 漢籍 経部・史部（1—200頁）
- 漢籍 子部・集部・叢書部・附録
（201—949頁）
- 漢籍 書名索引・人名索引
（1—256, 1—253頁）
- 和書 上（総記—歴史）（1—866頁）
- 和書 中（伝記—演劇）（867—1794頁）

和書 下（美術—兵学・附録）

（1795—2415頁）

和書 書名索引（1—592頁）

本館の狩野文庫を中心とする、本学所蔵の古典（原則として漢籍は宣統3年、和書は慶応4年までに成立した著作。但し、編著者の時代或は注釈などの関係で巾はひろくとっている。）の総合目録の形をとっている本書であるが、内容的には昭和40年度受入図書までの収録である。

分類法は、漢籍は四部分類法、和書は総記から工学・兵学に至る独自の十門分類法を採っている。

索引の編成は、漢籍が画数順排列、和書が五十音順排列である。

既存のカード目録の複製の原稿に依り開始された編纂・出版事業であったが、大学紛争あるいは本館も含む本学のキャンパス移転等の大きな節目を経ながら、漸く一応の完結をみた。

編纂・出版に協力いただいた各方面の関係の方々に対して、この紙上からも心からの御礼を申し

上げる次第である。

出版の開始とともに、狩野文庫本を中心に、内外からの利用も急激に増加しているが、同時に本目の改訂や未収録古典の措置などの将来の課題も生じつつある。本目録が江湖にひろく活用されることを希うとともに、将来の本目の整備への継続的な努力も期しながら報告とする次第である。

「矢島文庫」(本館書庫)紹介

矢島玄亮氏については、既にいくどか本紙に名前が載せられているので、改めての紹介は略させていただきますこととする。

氏は、現在でも時折本館に見えられ、論著の執筆のための研究に励まれておられる。「私の蔵書は、図書館以外に置き場所は考えられない。…」という氏の御熱意によって、辞書類などの座右の書物から、書斎の掛軸の一本までを含めたすべての蔵書が、昭和55年秋、本館に寄贈されたのであった。

昨56年度臨時事業の予算措置がなされてその整理に入り、この57年正月から「矢島文庫」として内外の研究者に公開・供閲されている。

その「矢島文庫」の内容は次表のごときである。

約1,000点、2,000冊の蔵書は、書架(7段)5本に排架され、書庫二階の狩野文庫に隣接した場所に置かれている。

「矢島文庫」の内容は、分野別の別表に見えるところである。氏の究学の起点ともいえるべき三本柱—中国哲学・漢文学・書誌学—は、そのままの数字を顕著に示している。

書誌・書誌学分野は、氏の業績集ともいえるべき「参考資料」の数々を筆頭に、本館の斯の部門を補すること大なるものである。

蔵書の一つの特徴として、清末民国初年の石印本を中心とする線装本の多いことが挙げられる。一例にとどめるが、清刊(光緒18年宝慶務本書局刊)の十三經注疏は完全揃である。

個人の収集という面で、大きな特色をもつ部分もある。「矢島文庫」を整理しているさなか、「ミニ狩野文庫ですね」という声が聞かれた。大

分 野	和・洋		和 漢 書		洋 書	
			(点)	(冊)	(点)	(冊)
A～E (政治・経済)			28	30	2	2
F (教育)			11	11		
G (歴史・地理)			99	195	6	6
H (哲学・宗教)	G～G D		40			
	G E		40			
	G G～G K		19			
			196	703	3	3
K (芸術・文学)	H～H A		36			
	H B		89			
	H C～H L		17			
	H M		35			
	H P～H R		19			
			291	560	1	1
M～S (科学技術)	K～K E		53			
	K F		26			
	K G		80			
	K H		15			
	K K		95			
	K P～K T		22			
U (図書館・書誌)			38	41		
W・Y (古書・特殊資料)	U～U G		7			
	U L～U M		40			
	U P		128			
	U S		4			
Z (逐次刊行物)			2	2		
			104	141		

正・昭和初年期ではあるが、珍しい古書目録の数々、各地の観光地図、絵葉書類、更にはマッチラベルのスクラップブック、切手帖……といった資料は、本館「狩野文庫」にも見られるものである。本館奉職以来相当のときを「狩野文庫」と対峙してこられた氏をおもうと、興を感ぜさせられる部分であろう。

内外の研究者からの贈呈本と、論著の別刷類の多いこと、等々まだまだ記すべきことは多いが、将来の「文庫」利用のなかでの発掘に期することとしたい。

昭和56年度特別図書購入報告

特別図書購入費（文部省配分）によって、下記資料を購入し本館に備付けましたのでご利用下さい。

図 書 資 料 名	巻 号	刊 年
Internationale Bibliographie der Rezensionen Wissenschaftlicher Literatur. (国際書評記事索引)	Jg. 5-9	1975-1979
Early English Books. STC I (1475-1640) (英国古書集成)	Units 48. Reel No. 1675- 1698	1981
南部藩家老席日誌. マイクロフィルム	Reel No. 1-79	1981
Der Jude. (ユダヤ誌)	Jg. 1-8	1916/1917- 1924
伝記資料 影印 (I), (II), (III) 170冊 (近現代中国の東洋史, 中国哲学, 中国文学に関係する人物の研究論文)		1981
Cahiers du Communisme. Reprint. 40冊 (フランス共産党機関誌)		1924-1939 1951-1954
Rotuli Parliamentorum ; ut et petitiones et placita in parlamento with index. 7 Vols, (英国議会記録集)		1278-1503
Tax Court Reports. (租税裁判所判決集)	Vol. 1-73	1945-1980
判決原本版 大審院最高裁判所入会判決集 復刻版	明治篇 全8巻 昭和篇 全9巻	明治17-45 昭和2-53
内閣文庫本：御触留，仰出之留，慶禄記，憲法記，町御奉行所御達留， 御勝手方御定書並伺之上被仰渡候書付，御勘定所伺御定 1セット		昭和56
Accountant. Reprint. (会 計)	Vol. 51-60	1914-1919
教育時論 復刻版	第39-52巻	明治28-31年/4月
聴覚研究（海外研究開発レポート） 論 文 集	No. 1-12	1975-1980
明 星 2次 復 刻 版	第1巻1号～ 10巻2号	大正10-昭和2
Revue d'Histoire Littéraire de la France. Reprint. (フランス文学史研究誌)	Vol. 1-15 Vol. 17-30	1964-1970

昭和56年度下半期文献複写実績

国立大学図書館間等で取扱われた文献複写の本学に於ける昭和56年度下半期（10月～3月）分実績は下記のとおりです。

区分 図書館名	受 付		依 頼	
	件 数	金 額	件 数	金 額
中央図書館	526 (147)	739,070 (224,215)	202 (337)	414,812 (324,358)
医学分館	716 (568)	338,230 (237,430)	26 (224)	19,250 (99,040)
工学分館	320 (15)	167,545 (11,455)	103 (12)	53,770 (36,705)
農学分館	118 (34)	62,110 (22,145)	31 (71)	16,145 (35,910)
合 計	1,680 (764)	1,306,955 (495,245)	362 (644)	503,977 (496,013)

② 表中の（ ）内は私費で外数を示す。

昭和56年度下半期（10月～3月）分文献複写受付および依頼国立学校別実績は下記のとおりです。

区分 学校別	受 付		区分 学校別	依 頼	
	件 数	金 額		件 数	金 額
筑波大図	29 (25)	29,490 (24,260)	東大図	29 (98)	137,510 (94,739)
静岡大図	34 (8)	21,705 (46,800)	一橋大図	5 (81)	31,200 (101,115)
秋田大図	29	15,845	京都大図	18 (14)	41,145 (15,869)
長岡技術大図	24	8,850	広島大図	6 (26)	11,585 (18,710)
群馬大図	22	26,875	北大農図	29	8,735
茨城大図	3 (15)	1,640 (4,505)	筑波大図	(17)	(11,835)
琉球大図	11 (6)	18,220 (2,970)	東芸大図	1 (15)	295 (9,960)
広島大図	7 (9)	4,045 (18,670)	東工大図	16	7,535
岐阜長良分	14	23,880	名大図	11 (4)	9,315 (7,275)
福島高专	14	8,715	北大図	5 (7)	13,957 (8,640)
そ の 他	339 (84)	579,805 (127,010)	そ の 他	82 (75)	153,535 (56,215)

② 表中の（ ）内は私費で外数を示す。

中央図書館受付および依頼件数の多い上位10の国立学校を掲げた。

資料紹介 12

InterDok と I.S.T.P.

自然科学・工学関係の利用者から調査依頼の多い文献の一つに、国際会議の議事録 (Proceedings) がある。今回は、このような時によく利用される二つの書誌を紹介する。



1. Directory of Published Proceedings.

Series SEMT Science/Engineering/Medicine/Technology. Vol. 1 (1965) — Harrison, N.Y., InterDok Corp., 1965 — (monthly, except July-Aug., with annual cumulation)

出版社名でもある InterDok の名で特に有名なこの資料は、1964年以降世界各地で開催された

各種の会議 (Conference, Congress, Symposium など) の予稿集 (註1) (Preprints) 及び出版された議事録について、i) 会議の開催に関する事実的情報と、ii) 出版物としての議事録の書誌的情報との二つを並列して簡潔に記述している書誌である。この書誌では、このような予稿集や議事録の出版情報を年間10冊 (7, 8月 は休刊) の速報版と溯及調査を容易にする年間累積版との刊行によって、迅速に、あるいは網羅的に調査できるよう考慮されている。

年間約10,000件とも言われる各種会議の約3分の2が議事録を刊行しており、この書誌では、それら刊行された議事録を持つ個々の会議の二つの情報を、開催年月の順に配置し、巻末の各種索引によって検索できる構成になっている。(図1参照) そのための索引としては議事録の編者からひく Editor Index, 会議の開催地名からひく Location Index, それに Subject/Sponsor Index がある。Subject/Sponsor Index というのは、会議名中の Keyword や、その会議の Sponsor, 又は会議に何らかの関係を持った大学名、それに議



図1. Directory of Published Proceedings

註 上の二つの情報はもともと横に並べて記述してあったのを紙面の都合で移動した。

事録のタイトルなどのうちのどれからでもひくことのできる index である。これらの index をひくことによって、目的とする会議情報が Citation number を介して検索することができる。(なお、Vol. 13 から入手情報として出版者の住所が巻頭に追加された)

議事録は、出版の時期が必ずしも一定していないので、出版年が不明の時は、開催年からあとのすべての巻号を調べる必要がある。その時の調査

を容易にする目的から、5年の累積索引も刊行されている。

InterDok には、この Series SEMT のほか、社会科学関係の会議を対象とする Series SSH (Social Sciences/Humanities, Vol. 1 (1968)—quarterly, with 4 years cumulation) と公害・生態学関係の会議を扱う Series PCE (Pollution control/Ecology, Vol. 1 (1974)—semi-annual) がある。

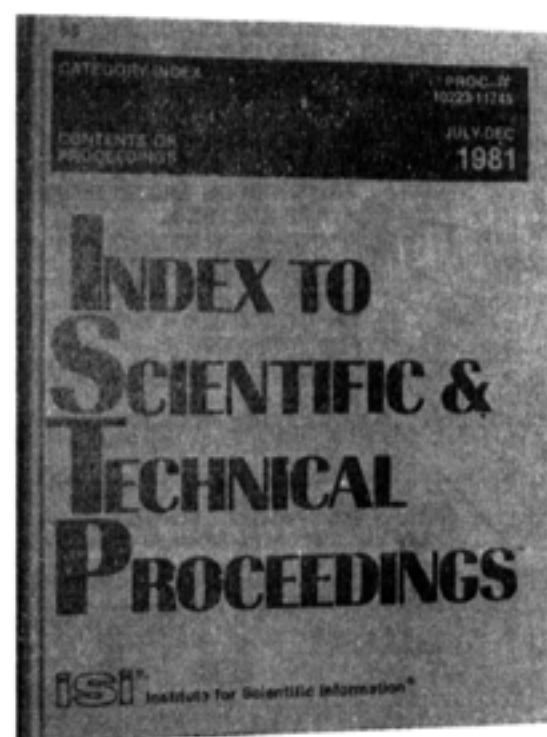
II. I. S. T. P. : Index to Scientific & Technical Proceedings. Vol. 1 (1978)—Philadelphia, PA, Institute for Scientific Information, 1978—(monthly, with semi-annual cumulation)

発刊してまだ5年に満たないこの書誌は、1) 同様刊行された会議議事録のうち、出版者 (ISI 社) が入手した最新の議事録について、書誌的事項の確認、速報、溯及調査、一次資料の入手 (注2) という四つの目的のために編纂された資料である。上記 1) との大きな相違点は、1) 1) が議事録を刊行したほとんどすべての会議をその収録対象としているのに対し、これは実際に議事録を刊行している会議のうちから、とくに、すべての paper を掲載している議事録だけを選び、更に主要なものだけを半分に厳選、収録している点、2) 1) が上述のように、会議そのものの情報と議事録の書誌的情報だけを簡潔に記述しているのに対し、これは、図2に示すように議事録の内容、即ち一点一点の paper のタイトルや著者名など内容情報に至るまで詳細に記述している点、3) したがって、それらの情報をひきだすための豊富な索引が用意してある点、などである。

内容の構成は、月刊・半年刊とも、会議及び議事録に関する完全な書誌情報を備えた Contents of Proceedings と名付けられた情報集団と、そこから必要な個所をさがし出すための6つの索引とからなっている。この6つの索引をその利用目的と共に列挙すると、次の通りである。

1) Meeting Location Index : 会議が開催された都市名がわかっている時。

- 2) Sponsor Index : 会議のスポンサー (主催、共催とも) がわかっている時、あるいは特定の団体がどんな会議に関与したかを知りたい時。
 - 3) Category Index : 特定の件名から、それに関するどんな会議が開催されたかを調べる時。
(そのため約200のカテゴリーが用意しており、その各々の下に関連する会議名が列記してある。)
 - 4) Permuterm Subject Index : Paper のタイトル、会議名などの中的主要語二つの組合せから関連の議事録、又は paper をさがす時。
 - 5) Author/Editor Index : paper の著者、又は議事録の編者名から関係文献をさがす時。
 - 6) Corporate Index : ある団体に所属する個人について、どんな paper を会議に提出しているかを団体名から調べる時。
- これらの Index は、すべて Proceeding num-



録に関する書誌としては、姉妹編の I. S. S. H. P. (Index to Social Sciences & Humanities Proceedings. Vol. 1 (1979)— Institute for Scientific Information, 1980— quarterly with annual cumulation) があるが、利用については上記と全く同様である。



これらの書誌は、刊行された議事録を持つ会議に限られるが、議事録が刊行されないその他多くの会議等については、会議予告誌である World Meeting : United States and Canada, — : Outside United States and Canada, — : Social & Behavioral Science, Human Services & Management (いずれも Professional Books Div., Macmillan Publishing Co. の出版) の利用によって、会議の開催に関する情報が調査できる。また、我が国のものとしては、「学術関係国際会議一覧」(日本学術会議)(本館所蔵なし)

がある。

そのほか、一機関の所蔵目録としては、英国の National Lending Library の Index of Conference Proceedings received by the NLL (本館一部所蔵) や国立国会図書館、日本科学技術情報センターなどの議事録所蔵目録や逐次刊行物目録があり、議事録の調査に利用できる。

注 1 予稿集が唯一の出版物という会議もある。

注 2 I.S.T.P. 記載の文献は, ISI 社を通じて入手できるという。

(参考調査掛)

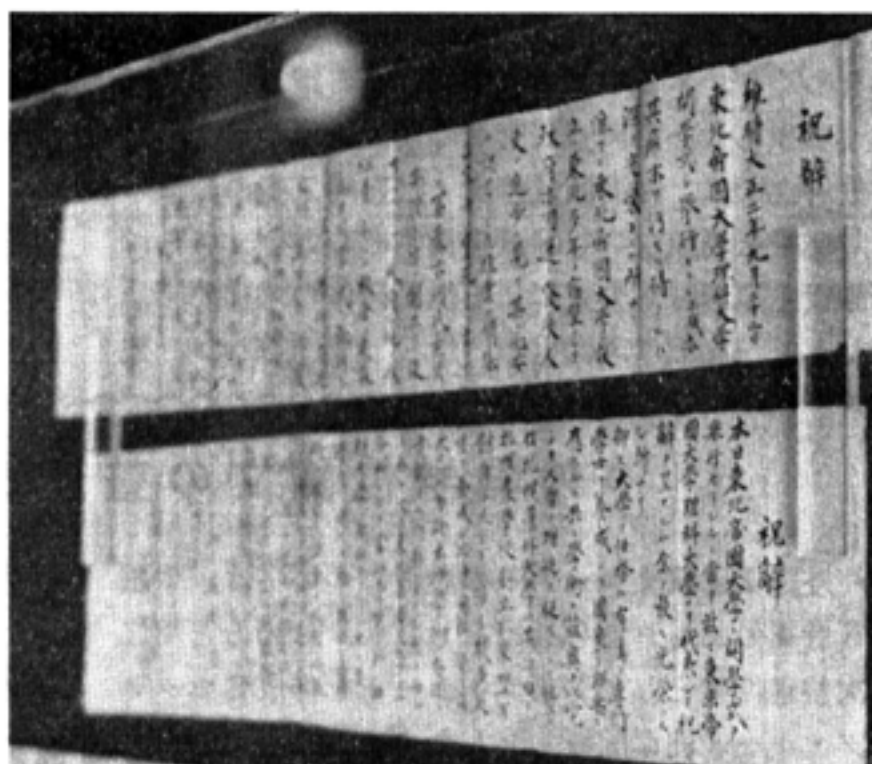
東北大学創立75周年記念 東北大学記念資料展 開催

本学の創立75周年を記念する行事の一環として、標記の展示会が6月19日（土）から24日（木）までの5日間、本館エントランスホールおよび自由閲覧室の一画を会場として開催された。

主催は本学の同記念行事実行委員会。本館内の記念資料室に収蔵されている遡大な本学記念資料の内より、75周年を物語る本学の沿革史関係資料300余点が展示され、また本館の「漱石文庫」よりの数点も記念出陳された。

今回初めて公開される記念資料が多く、創設期の開学式関係の文書から、戦後のイールズ事件或は大学紛争関係資料、また第二高等学校ほかの旧制高等学校関係資料等には、来館者の興味と懐旧の情をおりませた熱心な目が注がれていた。

期間中の入場者も1,300余人にも達し、用意された展示目録をうわまわるほどの盛況であった。斯の盛会に対して、展示の責任者である記念資料室副室長原田隆吉助教授が、展示会に関心を寄せられた各方面の方々に対する感謝の意を表するとともに、記念資料室の充実と発展のために、今後も各方面からの援助と協力をいただきたい意向を表されていることを附記するしだいである。



開学式祝辞

第29回国立大学図書館協議会総会

去る6月17日、18日の両日、信州大学附属図書館を当番館として、標記総会が山紫水明の地松本市で開催され、本学からも、館長、事務部長、閲覧課長、医学分館事務長の4名が出席した。

総会には、全国の国立大学附属図書館から、館長、事務（部課）長等230余名が参加、文部省情報図書館課からも、倉橋専門員、糸金係長の両氏（課長は国会緊急要務のため欠席）が出席され、盛大な会議となった。

第1日午前の部は、例年どうり先ず過去一年間の協議会事業の経過報告に始まり、56年度決算報告、各地区協議会報告等各種報告が相次いで行われ、また57年度予算案、岸本英夫博士記念基金規程の改正案等予定の協議事項を審議、ひき続き本年度協議会賞受賞者、内藤英雄氏（東工大図書館、ワーキンググループ代表者）の表彰式が挙行された。

午後の研究集会は、今回のテーマ“学術情報システムと大学図書館”に基づき、筑波大学学術情報課長及び東工大整理課長から、それぞれの図書館における業務電算化の実状、運営方法について、特に東工大の場合は、外国雑誌センター館としての応用面に問題をしばって詳細な研究発表が行われた。また最後に、信州大学工学部中村教授によって「情報化時代における大学図書館の未来像について」が講述されたが、情報工学専門家がコンピューターの可能性に託す図書業務の未来は、現実を超えたひらめきに満ちて印象深いものであった。

なお、都合で発表の途中に行われたが、倉橋専門員による文部省所管事項説明も、緊縮財政下にあって開設が待ち望まれている学術情報システムの方式、実施に関する説明が主で、協議会賞受賞者の業績内容を含め、会議主題は情報システム問

題に集中し、時宜に適ったものとなった。

第2日午前(運営、サービス)、(予算)、(人事)をそれぞれのテーマとする3分科会の討議が行われ、本館館長も、第2分科会(予算)の主査として討論の進行・総括の任に当たった。

これらの討論内容は、午後の全体会議で、各分科会主査からとりまとめ紹介されたが、第1分科会では、実現へ向かう学術情報センターシステムをめぐり、ネットワーク方式による電算化等、関連事項について調査研究班の設置希望等が、第2分科会では、図書館維持費・図書購入費の減額の対応策と増額ないしは減額歯止めの要望、さらに旅費主催者持ち方式による職員研修の増加要望、加えて 高額参考図書国内所在目録作成の希望

が、第3分科会では、職員の資質向上と電算化要員確保のための研修機会の増加また特定の俸給表を設定するなど職制と待遇の改善要望等があった旨報告され、いずれの分科会でも、国立大学図書館が抱える諸問題について、真剣で活発な討論が展開されたことを示していた。

以上で予定の議事を終了、次期会場館、北海道大学附属図書館長の挨拶と、再会を呼びかける会長の閉会の辞が述べられ、二日間にわたる総会の幕を閉じた。

なお、会議冒頭選出された新理事により、会長館等役員館の互選が行われたが、会長館(東京大学)、副会長館(京都大学、東北大学)は従前どおりである。

外国学位論文の整理と利用について

外国学位論文コーナーの設置については、本紙6巻4号でもお知らせしましたが、このほど第二次整理作業として著者索引カードを作成しカタログ・ホール内に配置しましたので、御利用ください。

これは、これまで未整理のため利用できなかった諸外国から送られた学位論文(Dissertation, Thèse)を、第一次作業として著者の姓のアルファベット順に書架に納め(昭和56年9月～57年1月)、引き続き利用を容易にするための整理を行っていたものです。

今回の整理は、館員6名でプロジェクト・チームを組織し57年2月から7月の6カ月間にわたって行ないました。57年7月末現在の整理冊数は、マイクロ・フィッシュ64点を含む14,021冊です*。今後送付される学位論文については、その都度、整理を行ない組みこんでいく予定です。

論文の提出大学を国別にみますと、西ドイツ・フランスを中心とした西欧諸国で大半を占め、分野別では自然科学系が6～7割を占めています**。

著者索引カードは、書架番号と著者の姓名から成っています。

[例]	書架番号	R	著者の姓のイニシャル	Reinert, Jürgen.
		707	一連番号	著者名

書架番号は、著者の姓のイニシャルと各イニシャルごとの一連番号を組みあわせたもので、書庫内の学位論文はこの書架番号順に配架してあります。このような簡易な整理方式を採ったのは、限定された人員および時間での整理であったこと、1人の研究者がそれほど多数の学位論文を執筆しないことが予測されたためです。

整理の対象となったものの中には、学位論文以外のものも相当数含まれていました。そのうち、雑誌の抜刷については本館に所蔵されていない雑誌についてのみ採り、また研究論文等は除外するという方針でしたが、徹底できずに若干混入していますのであらかじめ御了承ください。

索引カードは、カタログ・ホール西側壁際に配置してあります。著者名が明確である場合は、カードを検索し書架番号によって実物にあたるかメイン・カウンターに請求してください。学位論文の貸出は一般図書と同じ扱いで特に制限はありません。

著者名が不明確な場合や分野ごとにどのような論文が書かれているか知りたい場合などには、本館内に次のような資料が備えつけてあります。

1. Dissertation Abstracts International.
Vol. 1 No. 1 [1938] -
Sect. A. The Humanities and Social Sciences. (Monthly.)

B. The Sciences and
Engineering. (Monthly.)

C. European Abstracts.
(Quarterly.)

2. Comprehensive Dissertation Index,
1861-1972. 37 Vols.

//

Annual Supplement. 5 Vols. 1973-

1. は1938年に創刊された抄録誌で、全分野を対象としています。収録範囲はアメリカ中心に限定されたものでしたが、37巻[1976年]からはSection Cとしてヨーロッパの学位論文をも収録するようになっていました。各編とも学問分野ごとに編成され、その中で主題項目のアルファベット順に配列されています。また Key-Word Index と Author Index が付けられています。抄録は全て英文です。

2. はアメリカで初めて学位が授与された1861年から1972年までの学位論文約42万件を採録した索引と1973年以降の年間補遺版です。索引の記述は論文名・著者名・大学名・学位の種別・授与年・オーダーナンバー*** などから成っています。個々の記述は、主題の中で Key-Word のもとに

集められているので、専攻分野でどのような論文が書かれているかを知る上で便利でしょう。

Annual Supplement は1.のDAIをもとにかなりの論文を補遺して作成され、DAIのCitation Number も付けられています。

1. は書庫内洋雑誌コーナー、2. はレファレンスコーナーに配置してありますので御活用ください。

なお、外国学位論文の利用について不明の点がありましたら、参考調査掛(内線2430)かメイン・カウンター(2431)にお問い合わせください。

* これに加えて、既に旧分類I-F・新分類Yに分類・整理された論文約700点についても、カードを組みこんでいます。

** 自然科学系の学位論文については、一部分館で所蔵しているものもあります。

*** 資料1, 2の中でオーダー・ナンバーの付けられているものについては、版元である University Microfilms International 社がコピー・サービスを行なっています。到着までの期間は1.5~2カ月で、料金は1件あたり一律で六千円前後(マイクロ版、郵送料含む)ということです。

(外国学位論文整理プロジェクト)

LC館長来館

アメリカ連邦議会図書館のダニエル・J・ブーステイン館長が6月29日来館、服藤館長の案内で館内及び特別展示の貴重書を見学された。



同館長は東北大学経済学部を会場として行われた東北アメリカ学会年次大会で記念講演のため来学したものである。

会議等

○昭和57年度大学図書館職員長期研修

と き：昭和57年8月5~25日

ところ：図書館情報大学等

受講者：逐次刊行物掛 松井好次

○昭和57年度東北大学附属図書館総合研修会

と き：昭和57年9月21日

ところ：本館大視聴覚室

講師：名古屋大学附属図書館学術情報課長 関 篤

テーマ：ネットワークによる図書館業務電算処理システムの形成—名古屋大学の経緯と現状—

○第56次国立七大学附属図書館協議会及び

第15回国立七大学附属図書館部課長会議

と き：昭和57年10月7~8日

ところ：東京大学総合図書館

出席者：服藤館長、長尾事務部長、柿沼整理課長

昭和57年度総合研修委員きまる

今年度の総合研修委員選出のための選挙が去る5月13～14日の両日実施され下記の5名が選出された。

館長より委員の委嘱をうけ、この一年間職員のための研修計画と実施に活躍されることが期待される。

小野和夫（洋書目録掛長）
佐藤定夫（相互利用掛長）
松井好次（逐次刊行物掛）
阿部寿雄（受入掛長）
菅沢栄治（和漢書目録掛長）

永年勤務者表彰

本学創立記念日の6月22日、本学松下会館において永年勤務者の表彰が行われました。

本学に通算20年勤務し、職務に精励されたことにより、今回表彰された本館からの該当者は次の方々で、表彰状と記念品が贈られました。

閲覧課	中島通昌
〃	石田義光
総務課	庄子博
〃	佐藤忠弘
工学分館	近江淳子

訂正等

Vol. 7, No. 1

p. 6 昭和56年度受入図書冊数調

工学分館		合計（横）	
誤	正	誤	正
2,565	2,965	29,525	29,925
6,136	6,536	63,875	64,275
2,989	3,389	38,485	38,864
6,654	7,054	77,600	78,000

p. 7 資料紹介 11 左6行目

誤	正
IBZ	IBR

p. 10 会議等 右下

山本カズ子 山本カヅ子
ところ：東京医科歯科大学

人事異動

発令年月日	旧官職	氏名	新官職	備考
57. 7. 1		中島威	北青葉山分館長	併任
〃	北青葉山分館 事務取扱	服藤弘司		解任
5. 1		金田尚志	農学分館長	併任
〃	農学分館長	高橋甫		解任
5. 31	閲覧課 文部事務官	佐藤正志		辞職
7. 31	総務課 事務補佐員	坂本晶子		〃
8. 1		小林恵子	総務課 事務補佐員	採用

東北大学附属図書館報「木蓮子」 第7巻 第2号（通巻第26号）発行日 昭和57年8月31日

編集委員長 京極菊子 編集委員 菊地勝、松元義正、相川晶子、千葉龍郎

発行人 長尾公司 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800 (2408)